

2011年8月22日

株式会社 テクノ・システム・リサーチ

URL http://www.t-s-r.co.jp

東京都千代田区岩本町 3-7-4 TSR ビル 代表取締役社長 藤田正雄

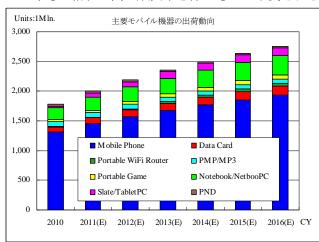
TSR - Press Release

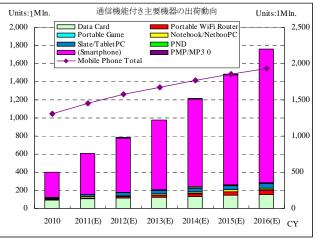
2011年の主要モバイル機器の需要は20億台を大きく上回る見通し

~ 3G 回線など長距離通信機能を装備した機器は16 億台を突破~

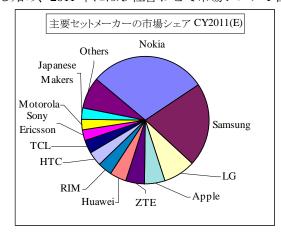
株式会社テクノ・システム・リサーチは携帯電話を中心とした主要なモバイル機器市場の出荷動向を調査した『2011 年 移動体通信市場マーケティング総覧』を 7 月に発刊し、主要モバイル機器の市場規模が全世界で2011 年には 20 億台を上回り、2016 年には 28 億台に達する見通しを示した。

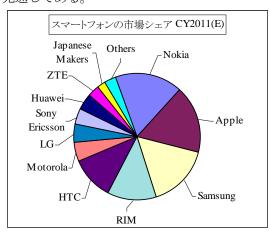
携帯電話の世界市場はコピー製品や山寨機などを除くと、2010年には13億台を突破し、2011年には14億5,000万台近い規模に成長する見通しである。またスマートフォン市場は2011年に60%という高成長を遂げ、2016年も2桁台の高い成長率を保つものと予測される。



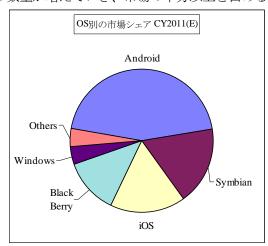


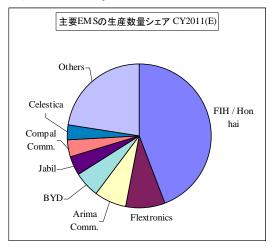
主要セットメーカーの出荷動向を見てみると、Nokia がトップシェアを占めているが、2011 年には30%を辛うじて確保するラインまで落ち込む見通しである。その一方で、スマートフォン専業メーカーのApple、RIM、HTC がシェアを徐々に伸ばしてきている。また、中華系のZTE、Huawei、さらにTCL も徐々にシェアを伸ばし始め、2011 年には3 社合わせて市場シェア1割を占める見通しである。





スマートフォン市場においても市場シェアに大きな変化が起こっている。これまでトップを独走していた Nokia がシェアを落とし、その反対に Apple や Samsung がシェアを大幅に伸ばしてきた。Apple は「iPhone」シリーズの好調に支えられて出荷を大幅に伸ばし、Nokia に迫る勢いを見せている。Samsung も「GALAXY」シリーズの好調に加え、独自 OS の Bada を搭載した「Wave」シリーズの出荷も堅調で、上位 2 社を猛追している。また、携帯電話市場全体ではシェアを激減させた Motorola や Sony Ericsson だが、スマートフォン市場ではシェアを伸ばしてきている。OS の動向に関しては、Android OS のシェアが大きく伸びるのに対して、これまで市場シェアトップであった Symbian OS は Nokia が Windows Phone 採用を表明したことでシェアを落し始めている。さらに、Apple の iOS の成長も著しく、Symbian OS と拮抗してきた。2012 年以降も、引き続き Android OS の数量が増えていき、市場の半分以上を占めるようになる見通しである。



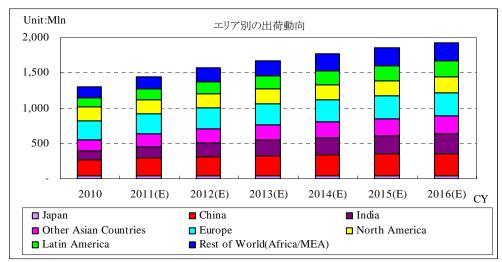


スマートフォン市場の成長は生産動向にも影響を及ぼしている。100%EMS に生産を委託している「iPhone」の出荷増や、同様に EMS の生産量が多い RIM などの出荷台数が増えたことで、EMS による生産数量が前年比で 30%増となった。さらに、EMS 陣営内でも競争も激しくなっており、各社ともフィーチャーフォンの生産はもちろんのことスマートフォン生産においても、OEM に加えて ODM に積極的に取り組むことで、委託される生産量の増加を図っている。

主要エリア別の市場動向では、北米や欧州などの先進諸国ではスマートフォンの出荷は好調だが、携帯電話全体としては成長率が鈍化している。これに対して、中国やインドでの需要増が市場全体を底上げしており、とりわけ、ベトナムやインドネシアなどの東南アジア諸国の市場成長も顕著になってきている。

また、中南米諸国向 けの出荷も堅調に推 移している。さらに、 アフリカ諸国などで は、これから徐々に 出荷が伸びていくこ とが期待される。

今後は、こうした 新興国市場が携帯電 話市場の成長を牽引 していくものと見ら れる。



【資料紹介】

『2011 年 移動体通信市場マーケティング総覧』は携帯電話市場を中心として、主要モバイル製品の出荷動向をまとめた、移動体通信機器に関する網羅的な資料であり、携帯電話市場に関しては、主要セットメーカーの動向に加えて、主要 EMS の動向や、製品の機能別動向なども調査対象としている。

【プレスリリース及び資料のお問い合わせ先】

株式会社テクノ・システム・リサーチ

第2グループ 戸波勝徳(tonami@t-s-r.co.jp) 武花勇一(takehana@t-s-r.co.jp)/TEL:03-3866-4505